



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社アイリッジ 上場取引所 東  
 コード番号 3917 URL https://iridge.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 森田 亮平 TEL 03-6441-2325  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	981	24.4	△28	—	△27	—	△24	—
2020年3月期第1四半期	788	—	△175	—	△174	—	△132	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △30百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △140百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△3.66	—
2020年3月期第1四半期	△20.06	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	3,449	2,750	72.4	370.85
2020年3月期	3,784	2,768	66.3	374.02

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,496百万円 2020年3月期 2,508百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△6.3	100	△12.3	100	△12.3	40	—	5.95

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,732,300株	2020年3月期	6,708,300株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	170株	2020年3月期	170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	6,713,668株	2020年3月期1Q	6,598,712株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴う、経済活動の停滞や縮小により、個人消費及び企業収益は急速に悪化し、今後の国内外の景気の先行きは極めて不透明な状況にあります。

当社グループは、企業向けにスマートフォンアプリを軸にしたデジタルマーケティングサービスを提供しております。デジタルマーケティングサービスの市場規模は、2018年の49,700百万円から2024年には133,000百万円にまで拡大する予測となっており（注1）、企業のデジタルトランスフォーメーション推進強化によりスマートフォンアプリを中心としたデジタルマーケティングへのニーズは中期的には一層高まるものと考えております。

このような事業環境の中で、当社は2018年5月以降、複数の資本業務提携を進め、当社グループの事業領域を拡大させ、次の3領域を中心に、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

- ・ スマートフォンをプラットフォームとしたO2O（注2）アプリの開発、マーケティング支援を主とするO2O領域
- ・ 電子地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」の提供を通じたフィンテック領域
- ・ 不動産テック（Residential Technology）市場への住宅・住生活関連ソリューションの提供を進めるライフデザイン領域

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比24.4%増の981,377千円となりました。主力のO2O領域において、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に伴うオフラインイベント中止や顧客企業の予算縮小等があったものの、開発案件の大型化・高付加価値化が寄与しました。中期的な重点取り組みとして掲げている収益のストックシフトについても、ファン育成プラットフォーム「FANSHIP」の機能拡充・ソリューション強化を中心とした取り組みを前期から継続して行い、月額報酬が増加しました。

また、当第1四半期連結累計期間は営業赤字であるものの、期初に重点活動領域として掲げた「開発案件の粗利改善維持」及び「事業環境変化への対応」への取り組みは順調に進捗しております。

具体的には、プロジェクトマネージャー及びエンジニアを中心とした継続した人材増強、全社横軸でのPMO/品質管理の強化による原価低減の取り組みに加え、リモートワークの導入等、新型コロナウイルス感染症の拡大による不透明な事業環境に対応した販売管理費の最適化を進めております。

この結果、売上高981,377千円（前年同四半期比24.4%増）、営業損失28,332千円（前年同四半期は営業損失175,435千円）となり、経常損失は27,947千円（前年同四半期は経常損失174,887千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は24,599千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失132,365千円）となりました。

（注1）出典：矢野経済研究所「DMP/MAサービス市場に関する調査（2019年）」

（注2）O2O（オンラインtoオフライン）とは、消費者にインターネット（オンライン）上のウェブサイトやアプリを通じて情報を提供し、実店舗（オフライン）への集客や販売促進に繋げることをいいます。

当社グループは、O2O関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

そのため、当社グループの販売実績を、サービス別に「月額報酬」と「アプリ開発、コンサル、プロモーション等」に区分しております。

サービスの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)			前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 増減 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)
月額報酬	162,811	20.6	238,855	24.3	46.7	782,101	14.7
アプリ開発、コンサル、 プロモーション等	625,905	79.4	742,522	75.7	18.6	4,555,205	85.3
合計	788,716	100.0	981,377	100.0	24.4	5,337,307	100.0

月額報酬は、

- a. FANSHIPのサービス利用料（利用ユーザー数に応じた従量制）
- b. アプリのシステム保守料等

から構成されております。

アプリ開発、コンサル、プロモーション等は主に、

- a. アプリの企画・開発に伴う収入
- b. アプリマーケティングに伴う収入
- c. 広告・販売プロモーションに伴う収入

から構成されております。

当第1四半期連結累計期間の販売高は981,377千円、内訳として、月額報酬は238,855千円、アプリ開発、コンサル、プロモーション等は742,522千円となりました。

月額報酬につきましては、FANSHIPを軸としたストック型ソリューションの展開・開発強化（マルチチャネルプラットフォーム化）等により、売上高に占める構成比率を高めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて335,213千円減少の3,449,319千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が477,818千円減少し、現金及び預金が144,027千円増加したこと等によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて317,419千円減少の698,373千円となりました。これは主に買掛金が176,100千円減少、支給に伴う取崩しにより賞与引当金が70,495千円減少、未払法人税等が55,553千円減少したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べて17,794千円減少の2,750,946千円となりました。これは主に利益剰余金が24,599千円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的に予測することが困難なため未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等をもとに連結業績予想を算定いたしました。詳細につきましては、本日（2020年8月14日）公表いたしました「2021年3月期通期業績予想（連結）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本公表は発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により、当社の業績は大きく変動する可能性があります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,106,909	1,250,937
受取手形及び売掛金	1,109,042	631,223
電子記録債権	36,503	43,339
仕掛品	145,785	154,630
その他	33,480	31,403
流動資産合計	2,431,722	2,111,533
固定資産		
有形固定資産	32,190	27,600
無形固定資産		
のれん	528,870	515,508
ソフトウェア	170,138	173,652
ソフトウェア仮勘定	33,751	34,980
その他	371	358
無形固定資産合計	733,132	724,499
投資その他の資産		
繰延税金資産	391,262	389,312
その他	196,224	196,373
投資その他の資産合計	587,486	585,686
固定資産合計	1,352,810	1,337,785
資産合計	3,784,532	3,449,319
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	379,145	203,044
短期借入金	280,000	280,000
未払法人税等	60,262	4,709
資産除去債務	—	31,000
賞与引当金	101,900	31,404
その他	151,664	136,395
流動負債合計	972,972	686,553
固定負債		
資産除去債務	42,819	11,819
固定負債合計	42,819	11,819
負債合計	1,015,792	698,373
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,067,155	1,073,155
資本剰余金	1,196,888	1,202,888
利益剰余金	250,755	226,156
自己株式	△270	△270
株主資本合計	2,514,528	2,501,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,539	△5,348
その他の包括利益累計額合計	△5,539	△5,348
新株予約権	7,094	8,128
非支配株主持分	252,656	246,236
純資産合計	2,768,740	2,750,946
負債純資産合計	3,784,532	3,449,319

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	788,716	981,377
売上原価	591,512	675,593
売上総利益	197,204	305,784
販売費及び一般管理費	372,639	334,116
営業損失(△)	△175,435	△28,332
営業外収益		
為替差益	188	318
受取配当金	—	50
受取手数料	355	413
雑収入	3	4
営業外収益合計	547	787
営業外費用		
支払利息	—	402
営業外費用合計	—	402
経常損失(△)	△174,887	△27,947
税金等調整前四半期純損失(△)	△174,887	△27,947
法人税、住民税及び事業税	1,217	1,290
法人税等調整額	△38,347	1,829
法人税等合計	△37,129	3,119
四半期純損失(△)	△137,757	△31,066
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,392	△6,467
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△132,365	△24,599

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△137,757	△31,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,404	239
その他の包括利益合計	△2,404	239
四半期包括利益	△140,161	△30,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△134,288	△24,407
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,873	△6,419



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

当社グループは、〇20関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

当社グループは、〇20関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。